



2024年8月2日

「CO₂排出量算定システム」炭削くんの新機能追加および導入件数2,000件突破について

当行は、地域・お客さまのカーボンニュートラルを実現することを目的として、本年1月から提供を開始しておりますCO₂排出量算定システム「Zero-Carbon-System（通称：炭削くん）」の新機能「サプライチェーン算定機能」を追加いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本システムの導入件数は、7月末時点で2,000件を突破しております。

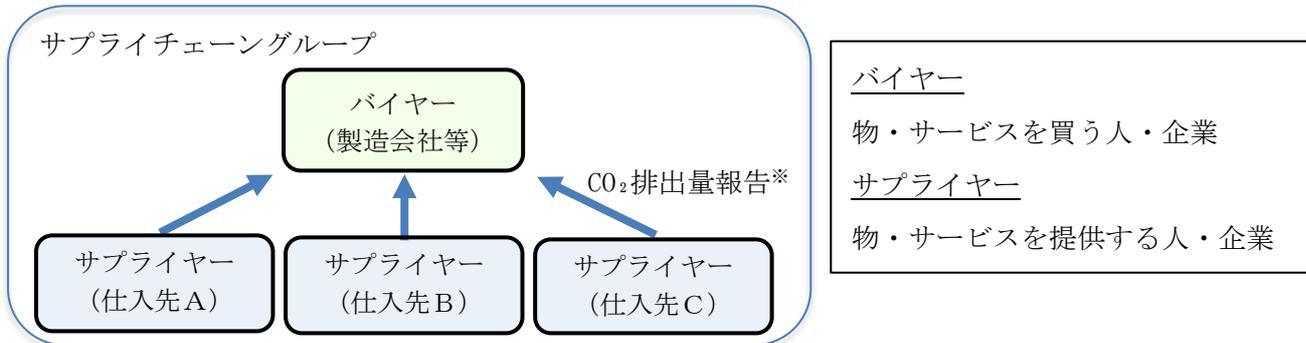
今後も地域金融機関としての役割を積極的に果たすべく、本システムの機能改善を図りながらより多くのお客さまにご利用いただき、地域・お客さまとともに脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 新機能「サプライチェーン算定機能」について

バイヤーが本システム上でサプライチェーングループを作成することで、グループに参加したサプライヤーからCO₂排出量の報告を受けることができます。バイヤーは、サプライチェーン全体のデータを簡単に集約することができ、サプライヤーにおいてはCO₂排出量報告の簡素化が見込めます。

【ご参考図】



※CO₂排出量の報告方法は2通りございます。

①製品単位での排出量で報告

供給製品の単位（1個、1本、1箱など）当たりの排出量を用いて報告

②組織単位での排出量で報告

企業の総排出量のうち、バイヤーに納入した製品にかかわる部分を按分して報告

2. 新機能追加日

2024年7月27日（土）

以上

【参考】「炭削くん」概要

<p>システム名称 ロゴマーク</p>	<p>CO₂排出量算定システム 「Zero-Carbon-System (通称：炭削くん)」</p> 				
<p>開発目的</p>	<p>気候変動、地球温暖化対策として脱炭素に向けた取り組みの必要性が高まる中、CO₂排出量の把握、見える化を実現するシステムを提供し、お客さま・地域全体のカーボンニュートラル実現を目指す</p>				
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチデバイス対応 (PC、スマートフォン等) ・サプライチェーンでの排出量算定可能 (Scope1, 2, 3) 				
<p>主な機能</p>	<p>電気、エネルギー等の各種使用量 (請求書等) データをシステムに入力</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 企業活動全体の CO₂排出量算定 (Scope1, 2, 3) および可視化 ② 排出量削減目標の設定及び進捗管理 ③ 算定結果のレポート出力 				
<p>アクセス および 申込方法</p>	<p>インターネット上での専用サイト (PC/スマホ/タブレット)</p> <p>https://zero-carbon-system.jp/register?bankCode=0182</p> 				
<p>利 用 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>利用開始から1年間は利用料無料。</u> 2年目以降は月額2,200円～(税込) ※ただし、クレジットカード決済のみ可。 <料金テーブル> <table border="1" data-bbox="480 1093 1123 1225"> <thead> <tr> <th>1企業あたりユーザー数</th> <th>月額料金(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1～5ユーザー</td> <td>2,200円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※以降、5ユーザー毎に1,100円加算</p>	1企業あたりユーザー数	月額料金(税込)	1～5ユーザー	2,200円
1企業あたりユーザー数	月額料金(税込)				
1～5ユーザー	2,200円				

<炭削くん 過去のニュースリリース>

- 2023年6月23日 [「CO₂排出量算定システム」の開発および運用開始について](#)
- 2024年1月29日 [「CO₂排出量算定システム」炭削くんのサービス開始について](#)
- 2024年6月3日 [荒尾市役所でのCO₂排出量算定システム「炭削くん」の導入について](#)
- 2024年6月5日 [「CO₂排出量算定システム」炭削くんの導入件数1,000件突破について](#)
- 2024年6月26日 [山江村役場でのCO₂排出量算定システム「炭削くん」の導入について](#)